

今月の寺ともさん さめき男介護友の会 もり ひろあき 森 寛昭さん



今月の寺ともさんは、さめき男介護の会々長の森寛昭さんです。森さんは、11/15号の高松市報の特集「住み慣れた地域で暮らしたい。①在宅介護をしている介護者の思い」で取り上げられました。13年前転勤で、高松に引っ越された頃から、当時62歳の奥様が認知症を患われました。外出先から自宅に帰れなくなったり、食事を作ることや、1人で食べることができなくなりました。よその家に入って行こうとする奥様のために、ご近所の約90世帯の方々に病気のことを伝える手紙を書いて1軒1軒配ったそうです。これが森さんの介護の本格的な第1歩でした。奇しくも、森さんのこの1歩が地方紙に紹介され、RNCラジオの「きれいを探してー認知症の妻と暮らすー」と題した特別番組として放送され、中四国ラジオ番組最優秀賞を受賞しました。「きれい」とは、おいしかったり、気分のいい満足感を表す奥様の表現なのです。さらに2015年に朗読劇「初恋・きれいをさがして」としても上演されました。周囲の協力や理解を求める森さんの姿に多くの方々の共感を呼んだのです。森さんは自身の介護を「老介護 最後の仕事いとおしみ ストレスとせず 与生のバネに」と詠んでおられ、余生ではなく、与生つまり与えられたこれからの人生の励みとして受けとめておられます。仕事のように介護するのでなく、ヨットやサイクリングを楽しみながら続けているそうです。10月末には、「ケアメン四国 in 高松」と言って、四国の男性介護者同士が集い講演やシンポジウムも開かれました。どんどん横に広がっていきつながりが、森さんを支えているのがよく伝わってきました。人間が生きていくことを教えられる気がします。

ご自慢のペットちゃん



名前：アンちゃん
 性別：♀
 お年：2歳
 種類：プードルのMIX
 好物：枝豆の皮・刺身の襷
 苦手：よその犬
 住所：松若さん宅(高松市)
 性格：賢い・癒し系

エピソード：縁あってめぐり会った当時、NHKの朝ドラ「花子とアン」が放送されていて、ある友人が愛犬に「花子」とつけたので、自動的に「アン」になりました。お花見に連れて行くと、純粋のトイプードルより愛嬌があり花見客の人気者でした。後ろ足で立ち上がり、ハイタッチもやっちゃうそうです。夏場はやもり相手に吠えバトルもします。自宅の廊下でボール遊びに興じ、ご主人をじっと待つ忠犬でもあります。

ご自慢のペットちゃん
 募集中だにゃん!

***** : 総代さん便りト *****

総代の川崎です。夏の終わり頃には早明浦ダム貯水率が減って、香川用水は給水制限となっていたのであるが、10月に入っての今年の稲の収穫は雨続きに悩まされた。当家の耕作面積から収穫は4回になる。1回目は晴れ間の中で行ったのだが、2回目以降は雨の合間にコンバインで刈り取りをすることに。最後の4回目は、田んぼに水がたまっていた状態で、今にも雨が降りそうな中の作業であった。長年米作りをしている私であるが初めての体験でありました。そういえば今年は九州に大雨が降り大きな被害が出ましたが、近年は異常な気象のニュースがよく聞かれます。来年は、災害をもたらす様な異常な気象が起きませんように。それでは、みなさん、良いお年をお迎えください。

